

(受理番号)	4 - 1 6 (受理年月日) 令和4年11月22日
<p>件 名</p> <p>要 旨</p>	<p style="text-align: center;">陳 情</p> <p>消費税率5%以下への引下げを求める意見書の提出について</p> <p>安部政権下で2度にわたる消費税増税が強行され、暮らしと経営に深刻な打撃が続いている。さらに新型コロナウイルス感染症の拡大、ロシアのウクライナ侵略、異次元の金融緩和による異常な円安で、食品・電気やガス、資材が高騰し、未曾有の経済危機が国民の暮らしと日本経済に暗い影を落としている。</p> <p>消費税は所得の少ない人ほど負担が重く、赤字経営の事業者にも容赦なく納税させるなど、極めて不公平な税制である。</p> <p>政府は「全世代型」の名で社会保障制度を切り崩し、コロナ禍においても公立・公的医療機関の病床を削減しようとしている。消費税が社会保障の財源であるという大義名分はもはや通用しない。消費税減税の財源は、巨額の内部留保を蓄え、巨大なもうけをあげる巨大企業や株で大儲けしている富裕層に応分の負担を求めることで生み出せる。</p> <p>また、米国製兵器の「爆買い」や不要不急の大型公共工事に充てられる予算を子育てや教育、社会保障、災害復旧など暮らしを支えるために使えば、格差と貧困の是正にもつながる。</p> <p>以上の趣旨から、消費税率5%以下への引下げを求める意見書を国に提出するよう陳情する。</p>
	<p>部 名</p> <p>政策部</p>